

Shaguthihara-field

長野県北安曇郡池田町 社口原(しゃぐちはら)

みんなで農業組合を始める

LLP 社口原農業組合

池田町

みんなが安心して暮らせて訪れて移住したくなる町の実現

長野県北安曇郡池田町。

日本が誇る北アルプスの美しい眺望を望める場所に社口原があります。

そこで広さ5.6ヘクタール(東京ドーム1.2個分)の農地が、**環境再生型に変わる提案をします。**

ハーブの町 池田町は**オーガニックタウン宣言**をしています。
北アルプスと健康的な生活への魅力に 移住者も多いエリア。

いま国は**みどりの食料システム戦略**として有機農業を進めています。



立地条件

池田町ファームの方々が蕎麦・山菜などを無農薬で栽培していた土地。
ただし、土壌に石粒が含まれ、大規模な土壌改良が必要とされています。
ここで有効と思われるのが、近年、世界の農業で注目を集めている

不耕起栽培による**環境再生有機農業**です。

大地の再生や炭素循環農法といった手法も、土地改良には有効です。

また、**多様な果樹を混植**し、足元をベリーやハーブで覆い、

多様で持続可能な有機農業生産のモデル園をめざします。

米国カリフォルニアなどの乾燥地帯でも成功例があります。

化学肥料の価格上昇に左右されない、安全安心な農法を行います。

提案する農法と事業展開

持続可能なテーマパーク

世界的に注目を集める**環境再生有機農業(リジェネラティブ・オーガニック)**

社口原の農地が生まれ変わり**有機や環境保全を学べる場所になる提案**をします。

地球に負荷をかけない循環型農業のあり方を示します。

学習施設以外に新たな施設は作らず既存施設と連携を取ります。

サステナブルオーガニック博物館・図書館を開設

展望美術館内に設け環境再生型有機農業に関するパネル展示

持続可能な生活のあり方を示す図書を集め**サステナブルオーガニック図書館**とする

社口原農地には駐車場は設けず 歩きか自転車を基本とし、食はキッチンカーを利用

駐車場は、展望美術館のものを利用させていただくことを考えています。

リジェネラティブ農業とは

化学肥料や農薬の使用、機械化などにより農業の生産性が高まっていった一方で、過度に生産性を追求した管理方法により、温室効果ガスの発生や生態系への影響など農業自体が環境への負荷の原因になってしまうこともあります。リジェネラティブ農業は環境再生型農業とも呼ばれ、**土壌の有機物を増やすことでCO2を貯留し、気候変動を抑制する効果があると考えられている農法**です。具体的には、不耕起栽培をはじめ有機肥料や堆肥の活用など古くからある農業技術がベースとなっています。その中でも**不耕起栽培**は土壌へのCO2貯留という点においてだけでなく、農業従事者の省力化や土壌に生息する生物の多様性が促せるなどさまざまな面でメリットが多く、アメリカやヨーロッパで推奨され再生型農業として広く取り入れられている栽培方法です。日本人になじみが深い古くて新しい農業です

環境再生有機農場で**自給自足の仕組みが学べる循環モデル施設を作る**

具体例:電気・熱の自給 水の循環 メタンガス施設 防災基地にもなる

(牛 ヤギ 豚 鶏による生ゴミ処理施設)

全てが循環している様子を学べる **緑の学校**

パーマカルチャー(持続可能な農的暮らしのデザイン)

動物がいて単一作物生産ではなく、循環や多様性 調和を学べる農園であり,多様性を重要視し、持続可能で自然と調和した暮らしの提唱

フリースクール(教育の多様化)と**プレイパーク**(冒険遊び場)

子どもたちの自主性と成長の芽を育む場。子供達に居場所を提供したいのです。

各種講座収入とオーガニック マルシェ

○講座(ワークショップ)(一泊二日 年間10回開催)

リジェネラティブオーガニックデザインコース、ガーデニング、
パーマカルチャー実習コース、住建築 等 4講座と単発講座

収入予想 (参加料) 8万円×20名×4講座=640万円

経費予想 (講師謝礼金+車代ほか年間) 100万円×4講座=400万円

収益予想 640万円-400万円=240万円 **240万円**

マルシェ (最低)5回開催と仮定

収入予想(参加料合計) 3万円×5回=15万円

経費 特になし **15万円**

○農作物売り上げ 種など

ソバ 野沢菜 大根 **20万円**

○地代 **50万円 収支 225万円**

運営事業体発足のご提案 LLP(有限責任事業組合)

ご提案したいのは出資者全員が組合員という方法です。

出資金(全国の、池田町を愛する人たちから募ります)

出資金10万円×出資者100名 = 1000万円

交付金 オーガニックビレッジ交付金 農林水産省未来基金等

国県町交付金 3000万円予定

資本金(上記合計)

合計4500万円

設備投資(設備投資費用)半セルフ・ビルド(プロの力を借りつつ、自分たちで建設)

多目的ホール トイレ シャワー室 農産加工所 フリースクール 3000万円

プレイパーク木質遊具 500万円

環境整備 1000万円

合計4500万円

事業計画概要（要因と事業内容）

講座を通じてガーデン農場を2年で完成させ、3年目にオープン

1年目

地域起こし協力隊3名＋ボランティアスタッフ

講座立案、農園グランドデザイン＋農園づくり＋マルシェ

2年目

地域起こし協力隊3名＋有給スタッフ1名＋インターン数名

農園づくり＋講座・マルシェ開催

3年目

有給スタッフ2名＋アルバイト3名＋インターン数名

農園有料でオープン＋喫茶レストラン＋物販＋講座・マルシェ開催

事業主体（具体的に誰が中心となり稼働するか？）

LLP 社口原農業組合設立予定 臼井 健二 朋子

舎爐夢ヒュッテ(安曇野)に始まり 今のシャンティクティ(池田町)まで
パーマカルチャーの先駆者として全国に根強い支持を持つ
<著書>「パーマカルチャー事始め」創森社
「パーマカルチャーしよう」自然食通信社
「くっきりと安曇野の光の中で」「安曇野の大地から」PEACE出版

相談役

北條裕子

(きたじょう)

吉田太郎

カミツレ研究所 SouGo 代表取締役社長
国産カモミールを使用した医薬部外品・化粧品ブランド「華密恋」販売
前長野県有機農法プラットフォーム 東京都庁から長野県庁にスカウトされた
(長野県農業試験場の企画経営部有機農業プラットフォーム担当)
有機農業とキューバの農業や医療に精通(農業とキューバ関連著作も多い)

<著書> 「文明は農業で動く」「土が変わるとお腹も変わる」「タネと内臓」

「1000万人が反グローバリズムで自給・自立できるわけ」

和久井道夫

世界で活躍する長野県のガーデンデザイナー 小諸停車場ガーデンなど
<著書> 「信州で楽しむナチュラル・ガーデニング」

中山眞

地権者 池田町議会議員

参考にしたい観光農園

千葉県：**クルックフィールズ**

(事業者：**株式会社KURKKUクルック、東京都渋谷区**)

音楽プロデューサー、小林武史氏が開園。2010年千葉県木更津市に「農業生産法人耕す(以下「耕す」)」を設立。「耕す木更津農場」を開場、約9万坪(30ha)の広大な土地からなる農場は「次の世代にも使い続けられる農地」を目指して有機野菜の栽培と平飼い養鶏を10年以上継続。2019年、30haの広大な「耕す」農場を舞台に、消費や食のあり方を「農業」「食」「アート」の3つのコンテンツを軸に提案する、サステナブルファーム&パーク「KURKKU FIELDS(クルックフィールズ)」として2019年11月に第1期オープン。(資本金3000万)

北海道：**えこりん村(事業者：株式会社アレフ、北海道札幌市)**

人の営み・大地の営みをすべて自然に循環させ、訪れる人に見てやってもらい楽しんでもらう観光農園。びっくりドンキーの運営会社 その取り組みが先進的な取り組みと評価され、安倍首相も見学に 海外の要人を連れてきている。(資本金1億)

今後の収益の可能性

- ① 講座・講演料
- ② 農作物・加工品 販売収入
- ③ オーガニックビレッジ＝補助金 農林水産省未来基金など
- ④ テナント料
- ⑤ クラウドファンディング＋協賛企業
- ⑥ クーポン(地域通貨)による資金調達
入場料の外 農場レストラン 池田町加盟店 20店舗でも使用できる。
- ⑦ 食伝統の紹介とワークショップ
- ⑧ 循環型衣服の継承とワークショップ
- ⑨ 建設予定のオフグリット(電力を自給自足した)ハウスのセンターホール利用料

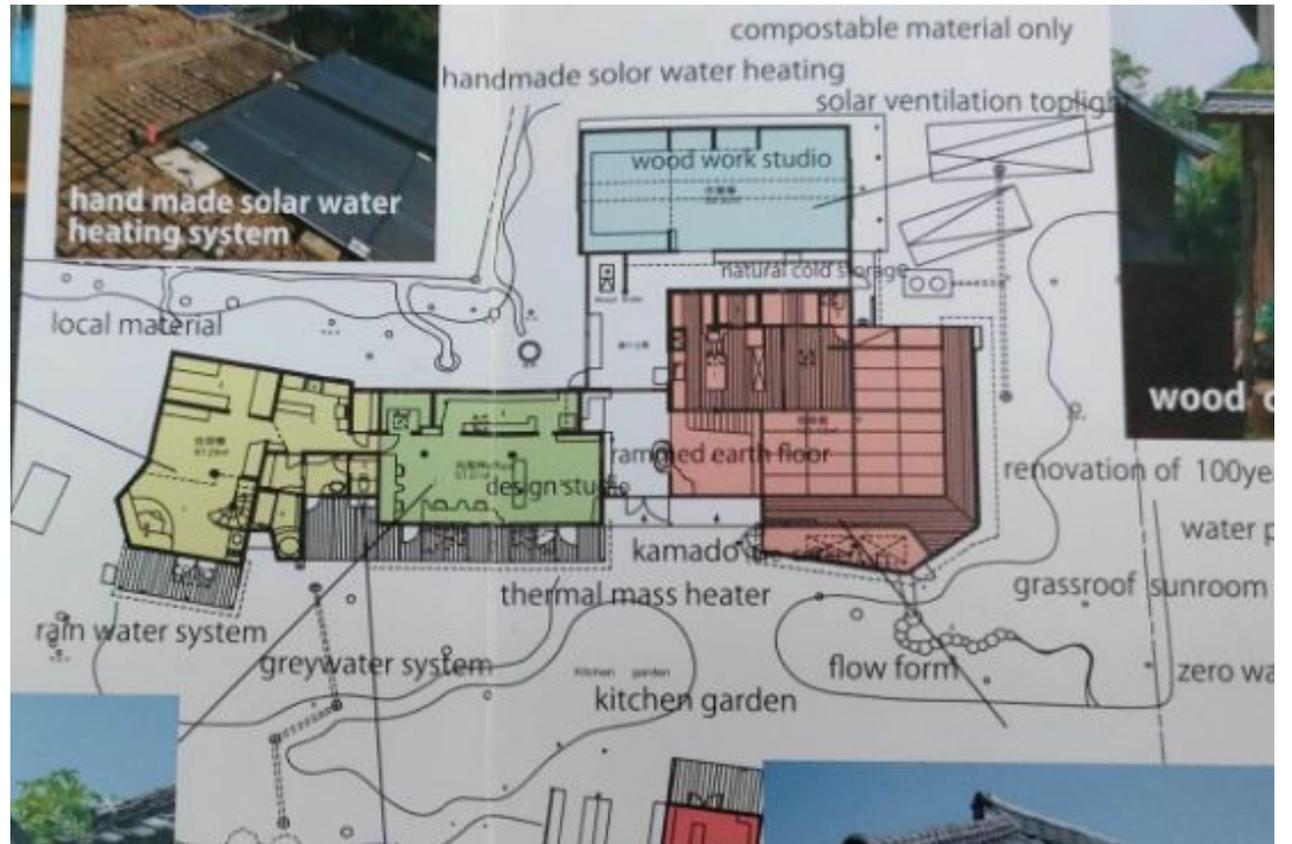
社口原自給の家

循環型素材 自然素材 地域の資源を使用 エネルギー 水 燃料 ゴミの有効化 自給経済

ワークショップで参加者全員で家を建てる！



オフグリッドの家(事例)



大阪万博の展示物の受入

2025年の万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」

大阪万博で表現展示されたものをサステナブルオーガニック博物館に移転(ゴミにしない)提案

地球に負荷をかけない 足るを知る 循環型の暮らしを世界に提言 池田町の象徴的な存在に...

北アルプス展望美術館を 持続可能な環境再生型有機博物館として

入場料2000円の内 1000円は地域クーポンで還元

各施設をつなげて池田町の商圈の活性化を計る

有機再生の池田町の象徴的な農場となる

有機再生の町として内外に広報

またこうした事業は県内外からも注目を集める

安全安心、持続可能な環境再生有機農法を行う町というイメージに変えていく



画像は映画ビックリトルファームより



提案者:

399-8602

長野県北安曇郡池田町会染552-1 シャンティクティ

LLP 社口原農業組合設立予定 臼井健二・朋子

TEL&FAX 0261-62-0638

E-mail : shalomusui@gmail.com